

# [大江浩光の過去約2年間の主な講演歴とその時の受講者の様子や感想]

所属団体：鹿児島県霧島市立国分南小学校

氏名：大江 浩光

期 日	主催者	研究会名・講座名・大会名	参加人数	資料番号
平成30年8月27日(月)	鹿児島県霧島市立牧園小学校(校内研修)	特別支援教育において結果を残せる算数・国語指導法	25名	
平成30年8月23日(木)	鹿児島県川内市教育委員会(特別支援学級担任対象)	教育的配慮が必要な子どもが暗算で買い物計算ができるようになる算数指導法	70名	
平成30年8月21日(木)	鹿児島県霧島市立国分南小学校(校内研修)	特別支援教育において保護者に説明責任が果たせ、結果が残せる算数指導法	35名	
平成30年8月10日(金)	かごしま県民大学中央センター 鹿児島県マルチメディア教育研究会	特別支援教育におけるタブレット端末を用いた指導法	110名	
平成30年7月26日(木)	鹿児島県立加治木養護学校	教育的配慮が必要な児童生徒における手作り教材やICTを用いた指導法	36名	①
平成30年7月27日(木)	鹿児島県屋久島町教育委員会	教育的配慮が必要な子どもが暗算で買い物計算ができるようになる算数指導法	32名	②
平成30年6月16日(土) 6月17日(日)	教育サークル SOYA (大阪市)	すぐに役立つ特別支援教育・ICT・特別な教科 道徳(元文部科学省教科調査官の押谷由夫先生とコラボ講座)	65名	③
平成29年8月24日(木)	鹿児島県立特別支援学校算数部	教育的配慮が必要な児童・生徒に対するICT活用法について	30名	
平成29年8月23日(水)	鹿児島市立清和小学校(校内研修)	教育的配慮が必要な児童・生徒に対する「たす・ひく」アプリを用いた指導法	25名	
平成29年8月11日(金)	鹿児島市自閉症保護者会	発達に障害のある子どもの支援における効果的なICT活用法	20名	
平成29年8月10日(木)	かごしま県民大学中央センター 鹿児島県マルチメディア教育研究会	「メディア教育セミナー」 特別支援教育におけるICT活用法	100名	
平成29年7月26日(水)	鹿児島市特別支援学級星峯ブロック夏期研修会	教育的配慮が必要な児童・生徒に対する「たす・ひく」アプリを用いた指導法	20名	
平成29年7月25日(火)	鹿児島市特別支援学級伊敷ブロック夏期研修会	教育的配慮が必要な児童・生徒に対する「たす・ひく」アプリを用いた指導法	25名	
平成29年7月25日(火)	鹿児島市立清和小学校(校内研修)	教育的配慮が必要な児童・生徒に対するICT活用した指導法	40名	
平成29年6月18日(日)	教育ボランティア(大阪市) (教育的配慮がいる児童保護者)	現役教師が教えてくれる 楽しく伸びる学び方	30名	
平成29年6月17日(土)	教育サークル SOYA (大阪市)	すぐに役立つ特別支援教育・ICT・特別な教科 道徳	65名	
平成29年6月16日(金)	大阪市立南港光小学校(校内研修)	教育的配慮が必要な児童に対するICT活用した指導法	30名	
平成29年5月19日(土)	鹿児島県マルチメディア教育研究会	タブレット(アプリ)操作 & 特別支援教育自主勉強会	40名	④
平成28年11月6日(日)	鹿児島ロータリークラブ 鹿児島大学教育学部	発達に障害のある子どもの支援における効果的なICT活用法	119名	⑤
平成28年10月15日(土)	日本教育工学学会 佐賀県教育委員会 (佐賀県)	「全日本教育工学佐賀大会・研究協議会全国大会」分科会で発表	50名	⑥
平成28年10月4日(火)	鹿児島市立学習情報センター	平成28年度第3回教育開発研究委員会にて事例発表	20名	⑦
平成28年8月10日(水)	かごしま県民大学中央センター 鹿児島県マルチメディア教育研究会	「メディア教育セミナー」 ※分科会Ⅱ(特別支援教育での活用)	120名	⑧
平成28年6月19日(土)	教育サークル SOYA (大阪市)	すぐに役立つ特別支援教育・ICT・特別な教科 道徳	65名	⑨
平成28年6月18日(日)	教育ボランティア(大阪市) (教育的配慮がいる児童保護者)	現役教師が教えてくれる 楽しく伸びる学び方	30名	⑩

- ① 平成 30 年 7 月 26 日 (木) 鹿児島県立加治木養護学校主催  
「教育的な配慮が必要な児童生徒における手作り教材や ICT を用いた指導法」



- ②平成 30 年 7 月 27 日 (木) 鹿児島県屋久島町教育委員会主催  
「教育的配慮が必要な子どもが暗算で買い物計算ができるようになる算数指導法」



- ③平成 30 年 6 月 16 日 (土)・17 日 (日) 教育サークル SOYA 主催 (大阪)  
「すぐに役立つ特別支援教育・ICT・特別な教科 道徳」(元文部科学省教科調査官の押谷由夫先生とコラボ講座)



[右側・押谷由夫先生 (前文部科学省教科調査官)]



〔資料番号④〕

平成29年5月19日（土） 鹿児島県マルチメディア教育研究会主催  
 「タブレット（アプリ）操作&特別支援教育自主勉強会」



※ 今年度、鹿児島市立学校の特別支援学級に iPad が配置されました。その iPad を有効利用すると共に、特別支援学級担任の指導力向上と連携を図る目的で鹿児島市立学習情報センターの協力も得て開催しました。土曜日にも関わらず、定員30名の所、40名の先生方が参加してくださいました。

タブレット（アプリ）操作&特別支援教育 自主勉強会

鹿児島県マルチメディア教育研究会 代表 板上市 茂  
 (鹿児島県立加治木養護学校長)  
 星ヶ原地区特別支援学級 大江浩光(板丘東小学校教諭)

本年度、鹿児島市の特別支援学級に iPad が整備されました。そこで、この iPad を学習において、より効果的に活用するための学習会を下記の要領で、実施します。また、特別支援教育に関する指導法をすぐに使える教材・教具の紹介も行います。当日は、ICT や特別支援教育に詳しい鹿児島県マルチメディア教育研究会メンバーがサポートして下さいますので、分かりやすく学ぶことができます。

- 1 日時 5月 20日(土曜日) 14時00分～18時00分
- 2 場所 鹿児島市立学習情報センター 5階
- 3 定員 30名(先着順)
- 4 参加費 無料
- 5 指導者 板上市 茂(鹿児島県立加治木養護学校長) 大江浩光(板丘東小学校教諭)
- 6 内容 ① iPad の操作方法や授業で役立つアプリの活用方法  
 ② 特別支援教育における ICT や AI について  
 ③ 特別支援関係の指導法やオリジナル教材教具など
- 7 申し込み方法  
 ・学校ごと、FAX でお申込みください。
- 8 申し込み先 ・板丘東小学校 ・大江浩光  
 ・板丘東小学校 FAX (099-264-3667) 板丘東小学校電話 (099-264-3666)
- 9 締め切り 5月18日(金)  
 もし、定員に満たない場合は、当日参加でも大丈夫ですが、大江まで空き状況の確認をお願いいたします。
- 10 参加者決定  
 応募者が定員をオーバーした場合は、後日、同様の勉強会を設定します。その際、大江から、今回外れた先生方に連絡を入れ、優先的に席の確保を行います。空席がある場合は、誰でも参加できます。
- 11 その他  
 当日の駐車場は、学習情報センターの駐車場は使用できません。

※ この用紙のまま、FAX していただいて結構です。

板丘東小学校 大江浩光行き  
 [応募用紙]

勤務校	お名前	連絡先電話番号



〔資料番号⑤〕

平成28年11月6日 鹿児島ロータリークラブ・鹿児島大学教育学部主催

「発達に障害のある子どもの支援における効果的な ICT 活用法」



**特別支援教育講演会**  
**発達に障害のある子どもの支援**  
**における効果的な ICT 活用法**

【期日】**11月6日(日)** **参加費 無料**

【会場】**鹿児島大学教育学部 第1講義棟 101号室**  
受付時間 9:30~

【講師】**10:00~12:00**  
講師 大江浩光  
テーマ:発達に障害のある子どもの支援における効果的な ICT 活用法

**13:00~14:30**  
講師 大江浩光 (鹿児島市立桜ヶ丘東小学校教諭) 当日はお昼のお弁当も販売しています。  
配後祥治 (鹿児島大学教育学部)  
テーマ:たのしいアプリや教材を用いた ICT ワークショップ

【問い合わせ先】**鹿児島ロータリークラブ事務局**  
**TEL 099-222-6527 FAX 099-226-3010**  
主催:◎鹿児島ロータリークラブ 鹿児島大学教育学部

講演会会場ご案内地図

※ 学校関係者，保護者，一般，学生など119名の参加をいただきました。  
次ページに掲載していますが，主催者がこの講座に関して，参加者にアンケート調査をとったところ，95%の参加者が「たいへん満足」「満足」を選択してくださいました。

平成 28 年 11 月 6 日開催 社会奉仕委員会

## 特別支援教育講演会アンケート結果

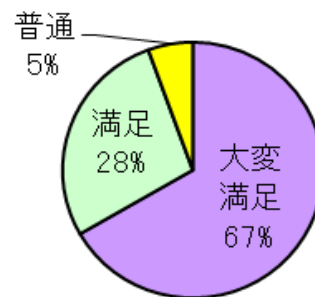
(共催：鹿児島ロータリークラブ・鹿児島大学教育学部)

◆ 参加者総数 119 名（内訳下記の通り）

ロータリークラブ関係者	19 名
学校教育関係者	28 名
医療福祉関係者	9 名
学 生	33 名
保護者・その他	30 名

Q. 特別支援教育講演会のプログラムは満足くものでしたか。

大変満足した	48 名
満足した	20 名
普通	4 名
あまり満足しなかった	0 名



Q. 次回開催（来年度予定）につきましてご希望のテーマ等ご意見がございましたらお書きください。

### 一部紹介

- ・貴重な話を無料できかせていただけるので、毎年すごく期待しています。
- ・とても勉強になりました。今日の経験を今後に活かしていきたいです。ありがとうございました。
- ・すごく楽しく深い学びができました！
- ・今回は貴重な学びの場をありがとうございました。大江先生のお話し、大変素晴らしかったです。また、次回も子どもに関する教育的な観点の講座で開講下さるとうれしく思います。
- ・とても勉強になりました。ICTをうまく使える様になりたいです。
- ・学習教材のアプリがあることすら知らなかったです。帰ってダウンロードしてみようと思います。
- ・ありがとうございました。

〔資料番号⑥〕

平成28年10月15日 日本教育工学学会・佐賀県教育委員会主催

「全日本教育工学佐賀大会・研究協議会全国大会」分科会発表

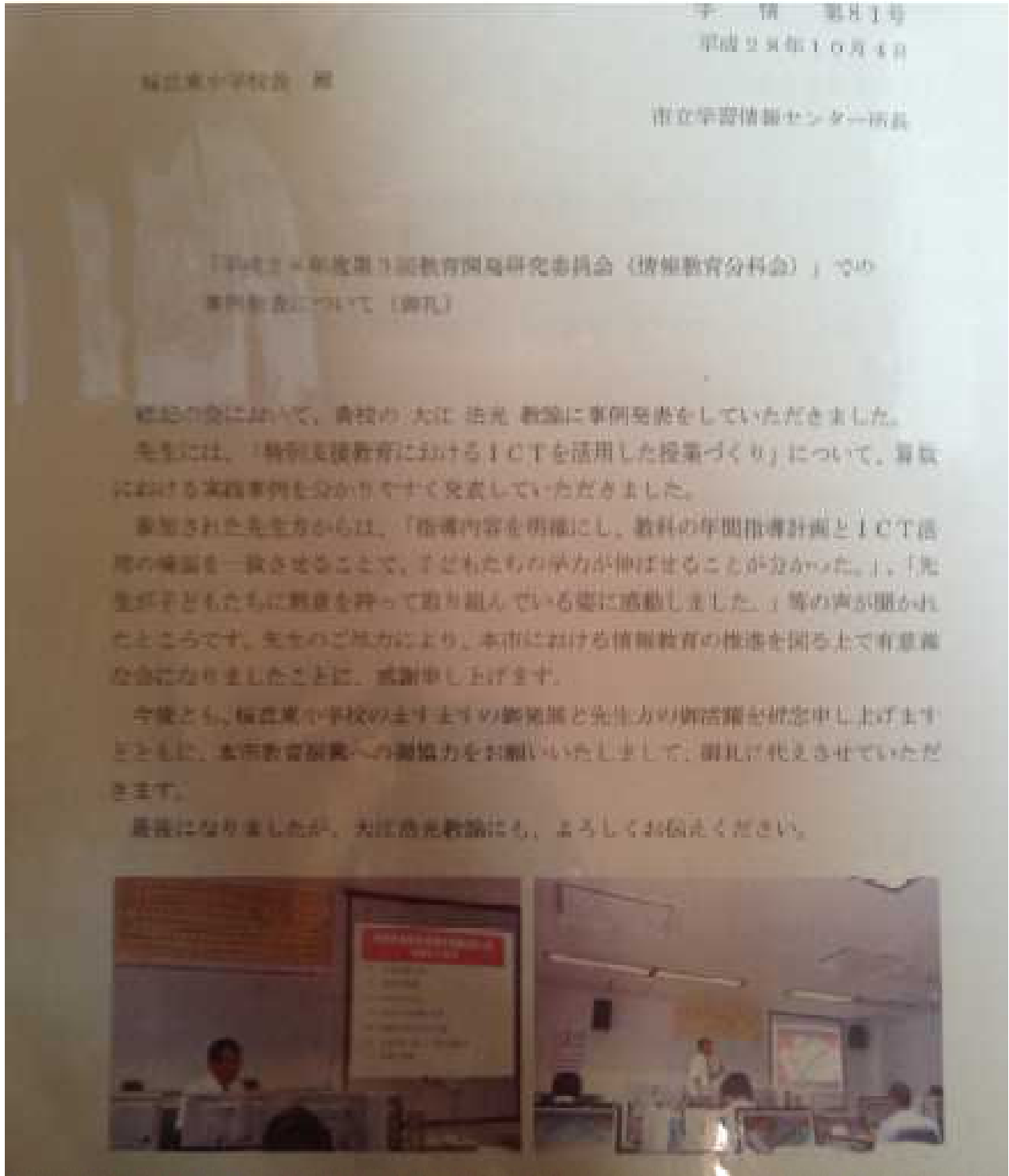


※ 満席の中，大学関係者や行政関係者，学校関係者，企業の方々の前で，特別支援学級における「たす・ひく」アプリの実践記録を発表させていただきました。

〔資料番号⑦〕

平成28年10月4日 鹿児島市学習情報センター主催

「平成28年度第3回教育開発研究委員会にて事例発表」





〔資料番号⑧〕

平成28年8月10日 鹿児島県マルチメディア教育研究会・かごしま県民大学中央センター主催

「メディア教育セミナー」分科会発表



※ 当日は、鹿児島を中心に九州各地から多くの先生方や教育関係者が参加してくださいました。実際にタブレット端末を用いて「たす・ひく」アプリの演習を行いました。



〔資料番号⑨〕

平成29年6月 教育ボランティア主催

「現役の教師が教えてくれる、楽しく伸びる学び方」



※ 参加者は、教育的配慮が必要な子どもの保護者が多かったです。その保護者の方々をご家庭でもすぐに指導できる指導法や指導の演習を行いました。



※講座終了後、更に話が聞きたいという保護者を要望に沿って、会場を変更し、延長して講座を行いました。参加した保護者は、熱心に聞いてくださいました。

〔資料番号⑩〕

平成29年6月 教育サークル SOYA 主催

「すぐに役立つ特別支援教育・ICT・特別な教科 道徳」



※ 特別支援教育の教材作り体験①



※ ICT を活用した指導法紹介



※ 特別支援教育における算数指導法  
について説明



※ 特別支援教育の教材作り体験②

※ 講座の感想は、次ページに掲載しています。

大江先生の講座を初めて聞きました。とても大江先生がパワーフルでエネルギーが伝わってきて、お話を聞いていて楽しく「もっと知りたい!!」って思いました。実際のところ、道徳を授業で取り立てていません。なので、今日いただいた資料絶対に使おうと思います。また、アプリをぜひ、紹介できている子に紹介します!! かけ算割り算も大切ですが、今、4年生で、割り算の筆算をやっている時に、ひき算が出来ないのがとてもしんどいと痛感しています。なので、個人相談等で保護者にお伝えし、夏休みに楽しみながらやってみようと考えています。また、今は、学担をしていますが、特別支援の方にも興味があり、今日、特別支援の話も聞いて、本当にたいへんになりました。学力を上げる、上げると力強く言っておられた先生がとても印象に残りました。



大江先生の熱意あふれる講座でした。

特別支援学級(知的)を担当していて、算数の指導をどうすればよいかと思っていました。

「たす・ひく」のアプリを体験して、早速

学級で使ってみたいと思います。

また、特別支援の道徳の授業作りのためのヒントもいただけて、よかったです。

朝早く鳥取を出て、大阪までやって来た価値がありました。(自費で)

この講座を通して大江先生に出会うことができて、よかったです。

ありがとうございました。

今年度から支援級の担当になったので、何をすればいい  
のか、方針が見えず困っていました。特に算数指導  
はどうすればいいのか、指を使っているけれどでき  
ていないのか、すごく悩みました。

具体的な段階<sup>ステップ</sup>を踏んで教えて下さったので、とてもわか  
りやすくありがたいです。大江先生の実践を  
お借りしながらにはなりますが、自分でも実践を  
重ねていこうと思います。できれば来年もお話しを  
お聞きできればと思います。

今日は、ありがとうございました。

具体的な指導法を教えてください。実際にクラスしてみようと思

いました。漢字とかなが覚えられない子や計算で指を使う子が

いるので…。豊中市はインクルーシブ教育で、クラスと一緒に学習してい

る者に学習しながら、支援学級に在籍している子も力を付けてい

るようにしたいと思っています。

言葉が「はいせはい」子ですが、<sup>「はい」「はい」</sup>思いが「はい」「はい」とが単語

で伝えようとしています。少しずつ言葉が増えていくように、<sup>おのづから</sup>単語カード

「はい」「はい」や「はい」がよいと思っています。

道徳の教材も工夫をしたいと思います。



「道徳特別支援講座」の感想

所属 ( ) 名前 ( )

大変勉強になりました。くりおりのたし算については

先と難しいところとありました。保護者との連絡。

アプリの使用。本配式解法を行うことで確実にできるもの

なることを学びました。

明日からの復習に早速役立てたいと思います。

大江先生、スタッフの皆様、今日は貴重なお時間、本当に

ありがとうございました。

「道徳特別支援講座」の感想

所属 ( ) 名前 ( )

色んな資料に加えて

楽しい講座ありがとうございました。

初めて、大江先生の講座を受けました。

非常に勉強になりました。

また、講座に参加したいと思います。

ありがとうございました。